



令和6年8月23日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済（令和6年8月号）」

国土交通省では、「国土交通月例経済（令和6年8月号）」をとりまとめましたので、お知らせいたします。

また、概況は別紙のとおりです。数値につきましては、国土交通省のウェブサイト（国土交通月例経済）をご覧ください。

「国土交通月例経済」は、建設分野や交通分野の公的統計を始めとし、事業者や関係団体が公表しているデータにつきましても引用しつつ、主要な項目をまとめて毎月公表しているものです。

なお、本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡いただけますようお願いいたします。

〔問い合わせ先〕

総合政策局 情報政策課 大井、森谷

TEL : (03) 5253-8111 (内線 : 28401、28425)

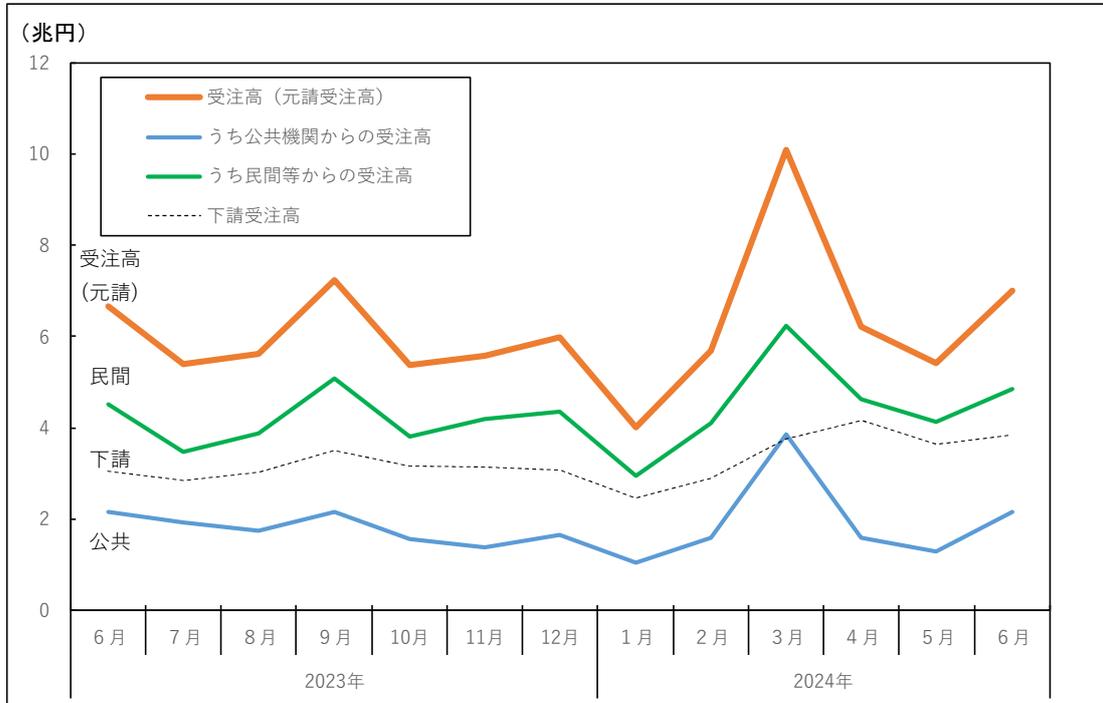
直通 : (03) 5253-8340

国土交通月例経済（令和6年8月号）概況

I 建設分野

1. 建設工事の受注高

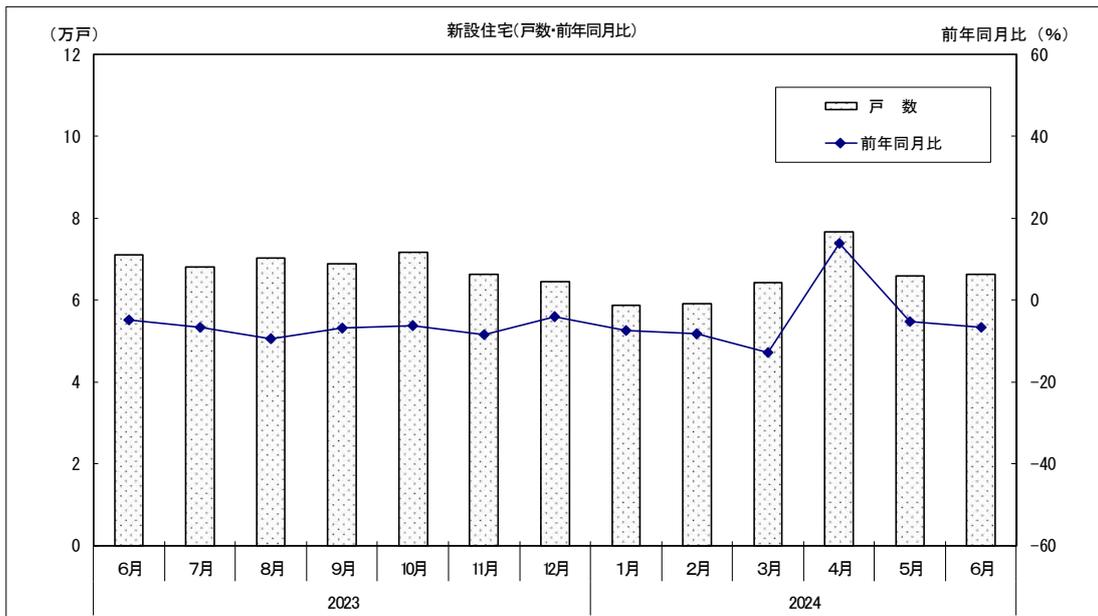
2024年6月の受注高（元請受注高）は7兆158億円（前年同月比5.3%増）となった。そのうち、公共機関からの受注高は2兆1,580億円（前年同月比0.4%増）、民間等からの受注高は4兆8,578億円（前年同月比7.6%増）であった。また、下請受注高は3兆8,354億円（前年同月比25.3%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

2. 住宅着工

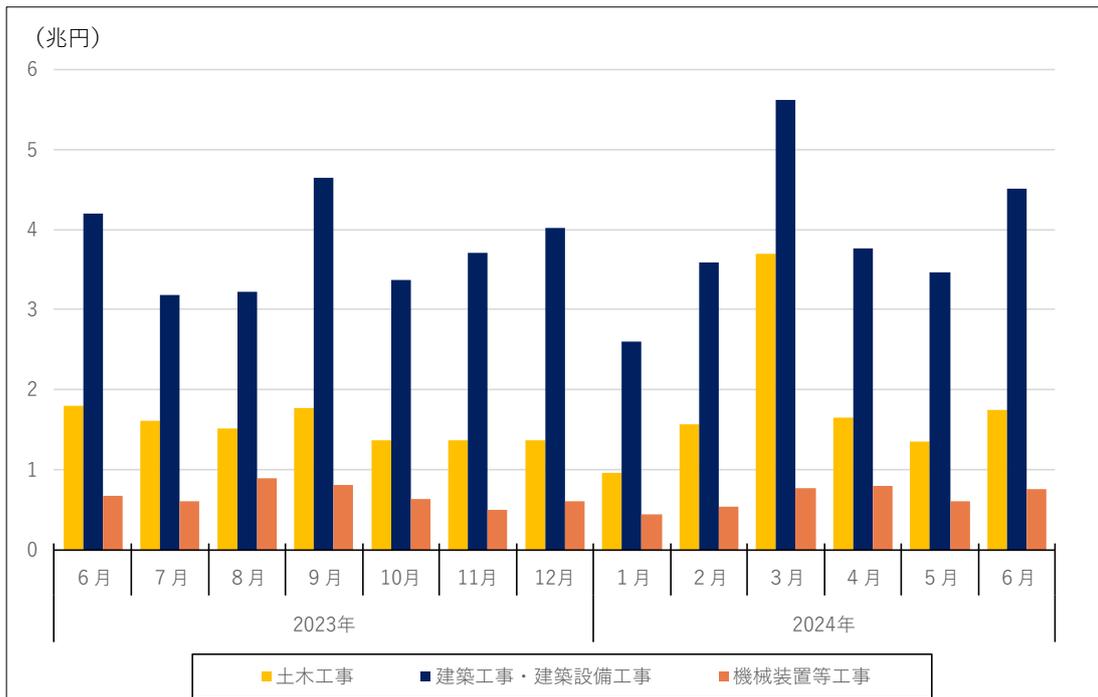
2024年6月の新設住宅着工は66,285戸（前年同月比6.7%減）となった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

3. 建設工事の元請受注高（土木、建築、設備）

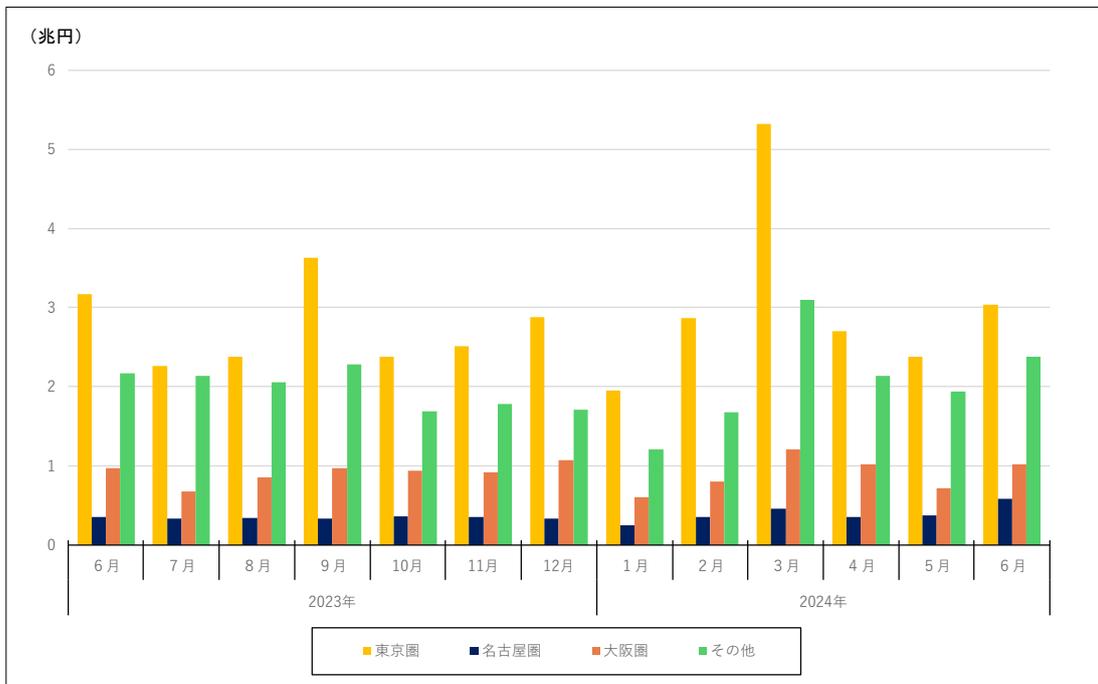
2024年6月の土木工事の元請受注高は、1兆7,483億円（前年同月比2.6%減）、建築工事・建築設備工事の元請受注高は、4兆5,056億円（前年同月比7.5%増）、機械装置等工事の元請受注高は、7,619億円（前年同月比12.9%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

4. 建設工事の元請受注高（三大圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）とその他）

2024年6月の東京圏の元請受注高は3兆327億円（前年同月比4.5%減）、名古屋圏の元請受注高は5,813億円（前年同月比67.3%増）、大阪圏の元請受注高は1兆208億円（前年同月比4.9%増）、その他の元請受注高は2兆3,810億円（前年同月比9.8%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

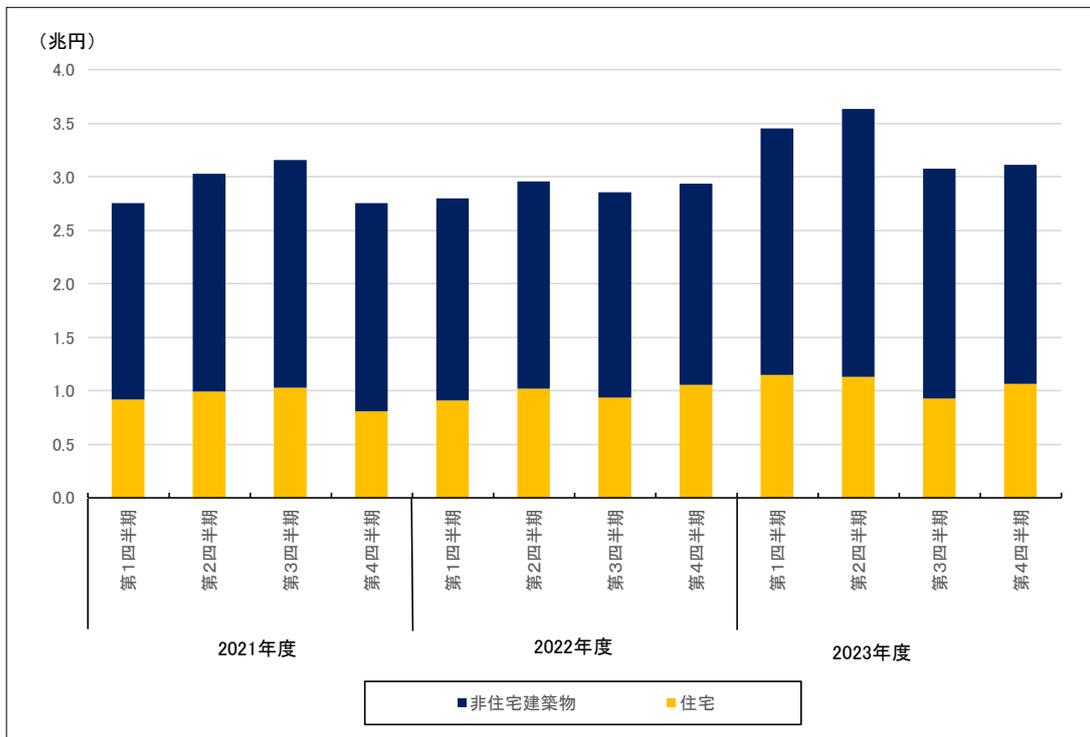
東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県

大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

5. 建築物リフォーム・リニューアル調査（四半期単位）

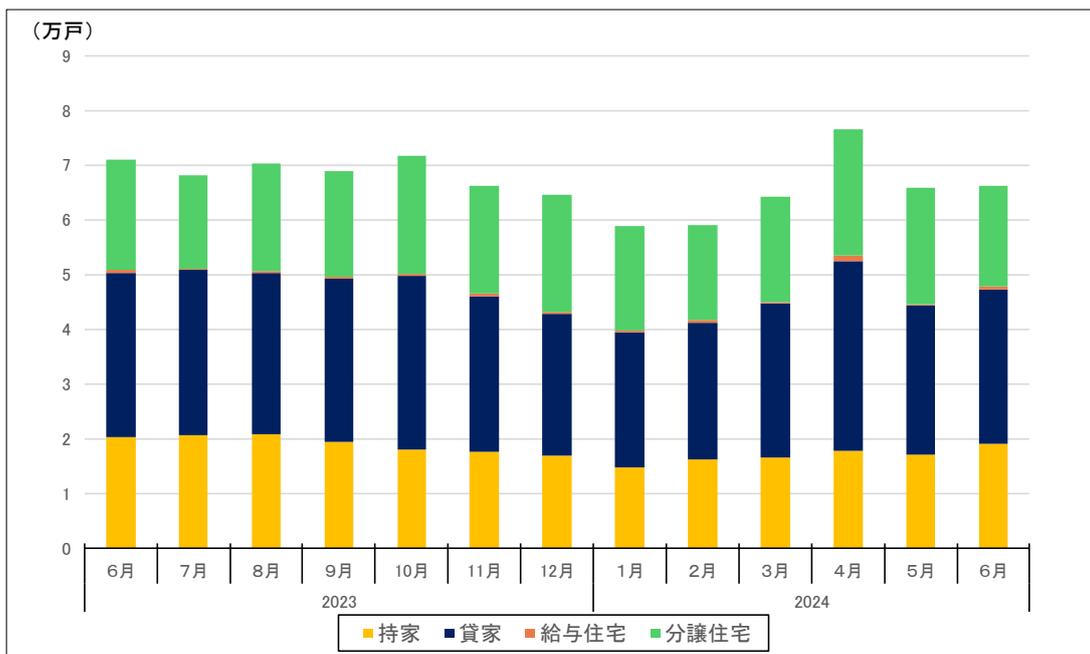
2023年度第4四半期の建築物リフォーム・リニューアル工事の受注高の合計は3兆1,155億円（前年同期比6.1%増）となった。そのうち、住宅は1兆668億円（同1.1%増）、非住宅建築物は2兆487億円（同9.0%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築物リフォーム・リニューアル調査 記者発表資料」

6. 住宅着工（持家、貸家、給与住宅、分譲住宅）

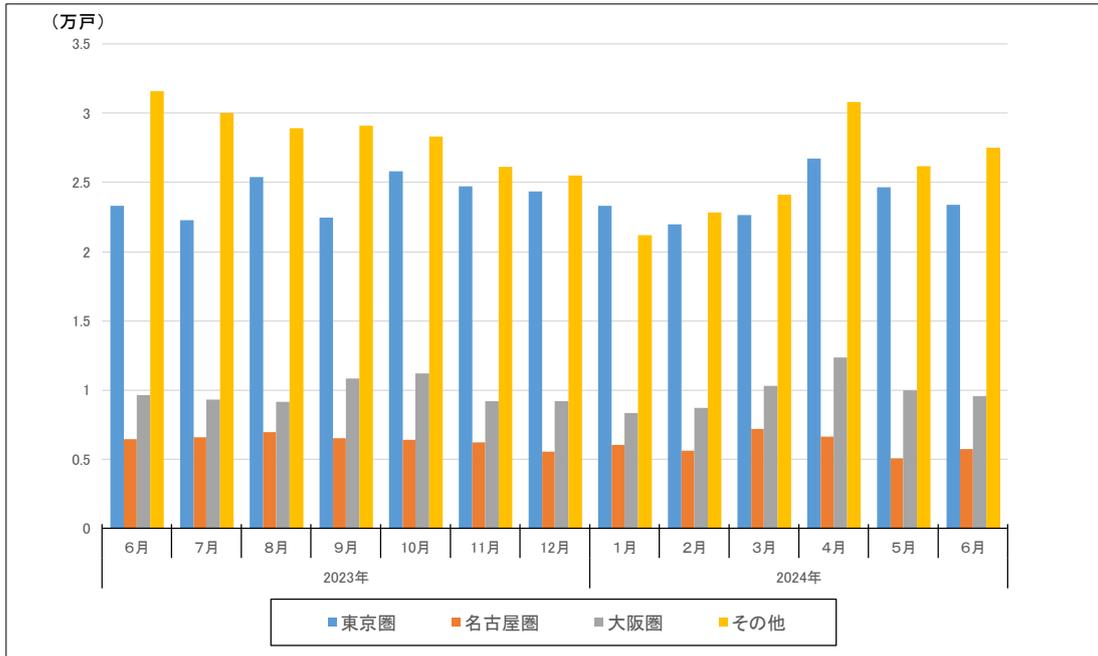
2024年6月の新設住宅着工は66,285戸（前年同月比6.7%減）となった。そのうち、持家は19,181戸（前年同月比5.6%減）、貸家は28,233戸（前年同月比6.2%減）、給与住宅は510戸（前年同月比3.2%増）、分譲住宅は18,361戸（前年同月比8.6%減）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

7. 住宅着工（三大圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）とその他）

2024年6月の東京圏の新設住宅着工戸数は23,407戸（前年同月比0.4%増）、名古屋圏の新設住宅着工戸数は5,745戸（前年同月比10.9%減）、大阪圏の新設住宅着工戸数は9,581戸（前年同月比0.6%減）、その他の新設住宅着工戸数は、27,552戸（前年同月比12.8%減）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

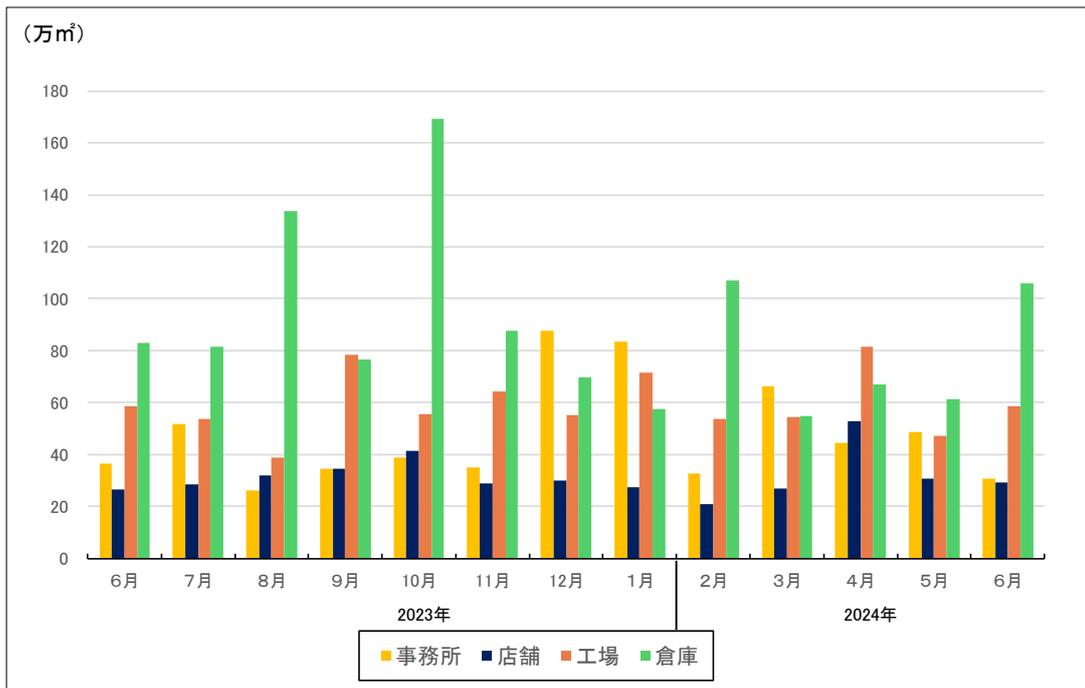
東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県

大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

8. 住宅着工（民間非居住建築物の床面積（事務所、店舗、工場、倉庫）

2024年6月の民間非居住建築物の床面積は308万㎡（前年同月比4.6%増）となった。そのうち、事務所の床面積は30万7千㎡（前年同月比15.7%減）、店舗の床面積は29万4千㎡（前年同月比9.8%増）、工場の床面積は58万4千㎡（前年同月比0.3%減）、倉庫の床面積は105万9千㎡（前年同月比27.4%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

II 交通分野

1. 旅客輸送

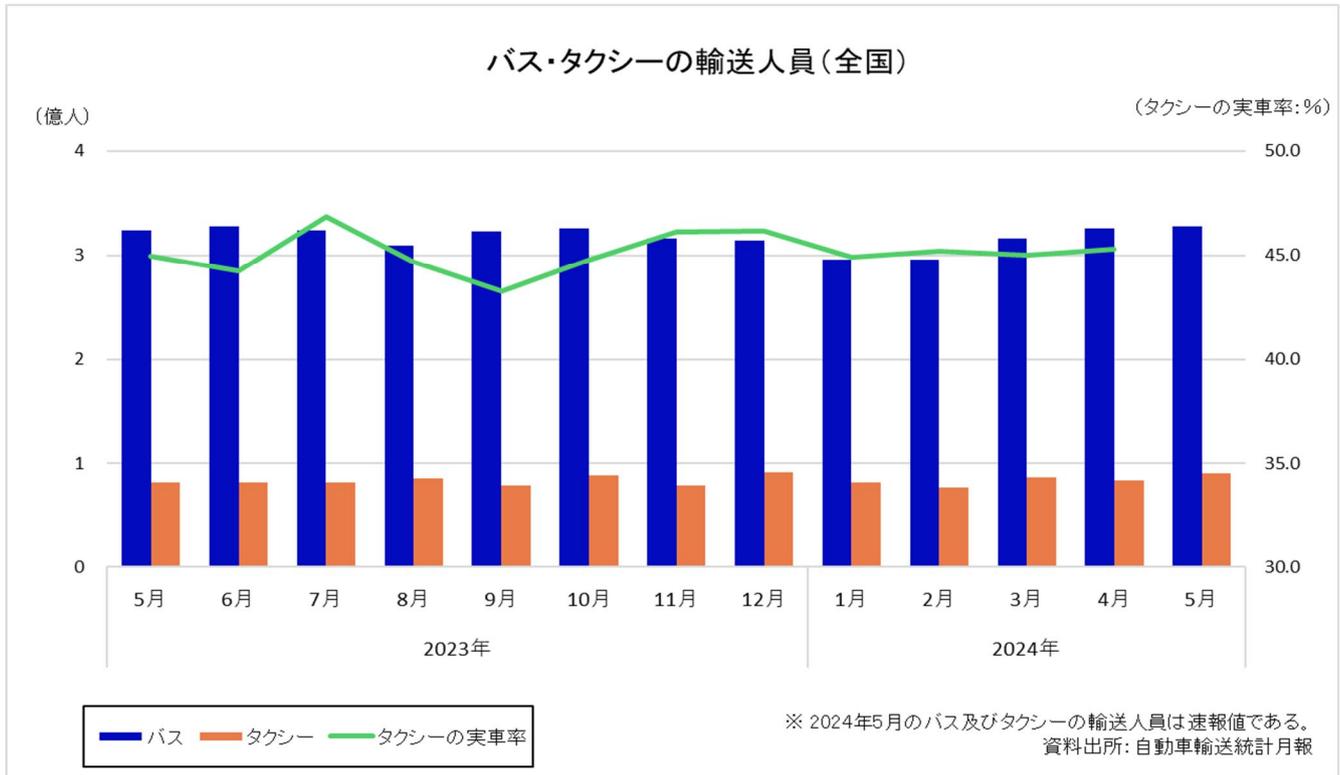
(1) バス・タクシー

2024年5月のバス^(注1)の輸送人員は、3億2,816万人(前年同月比1.4%増)となった。

2024年5月のタクシー^(注2)の輸送人員は、9,098万人(前年同月比10.9%増)となった。

(注1) 乗車定員11人以上の乗合バス。

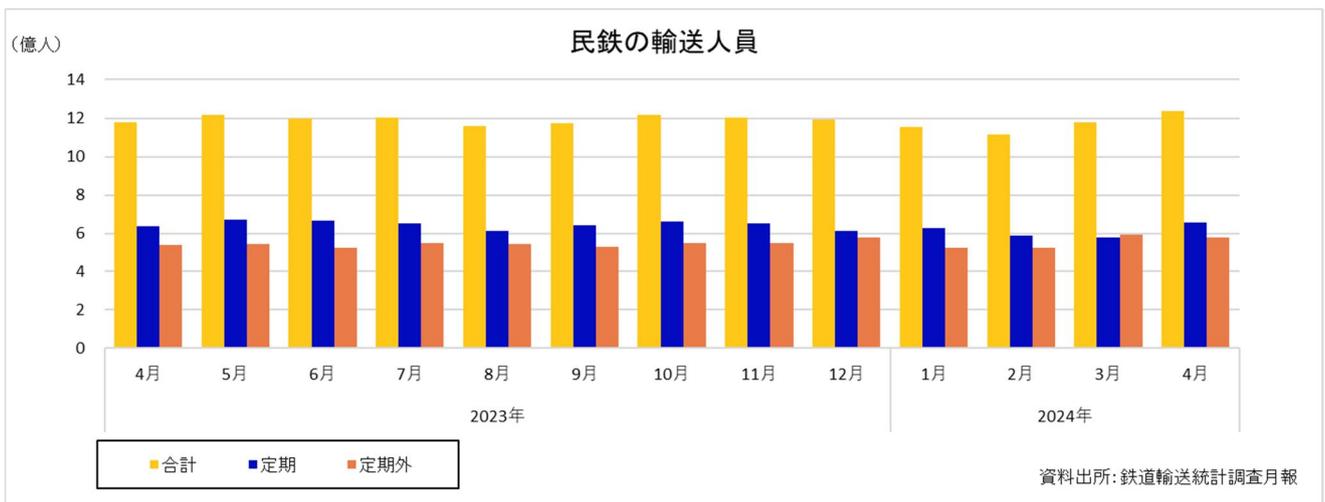
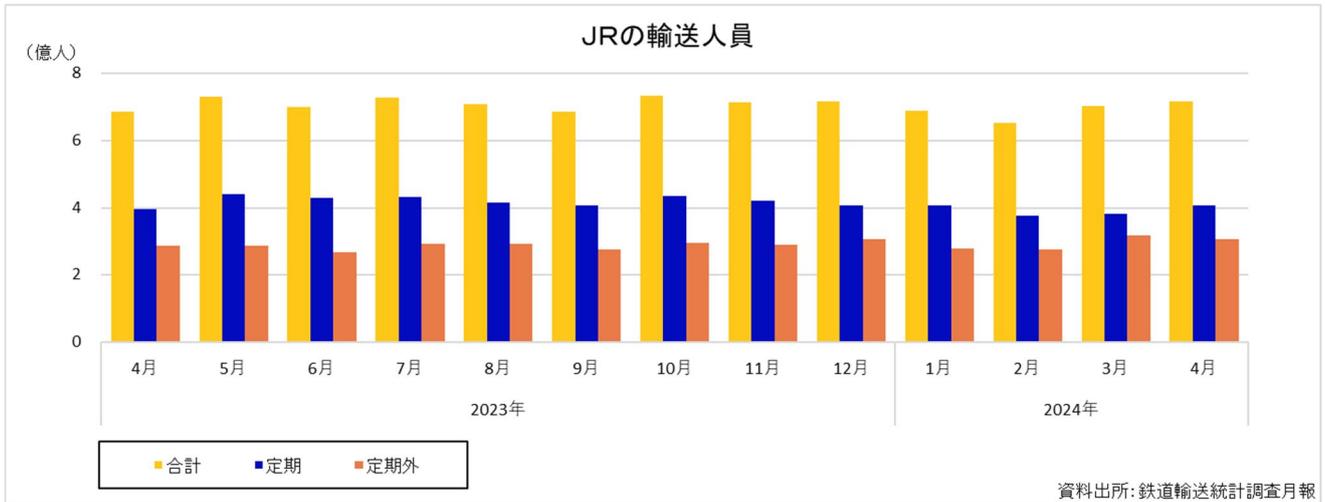
(注2) 乗車定員10人以下の営業用乗用車。



(2) 鉄道

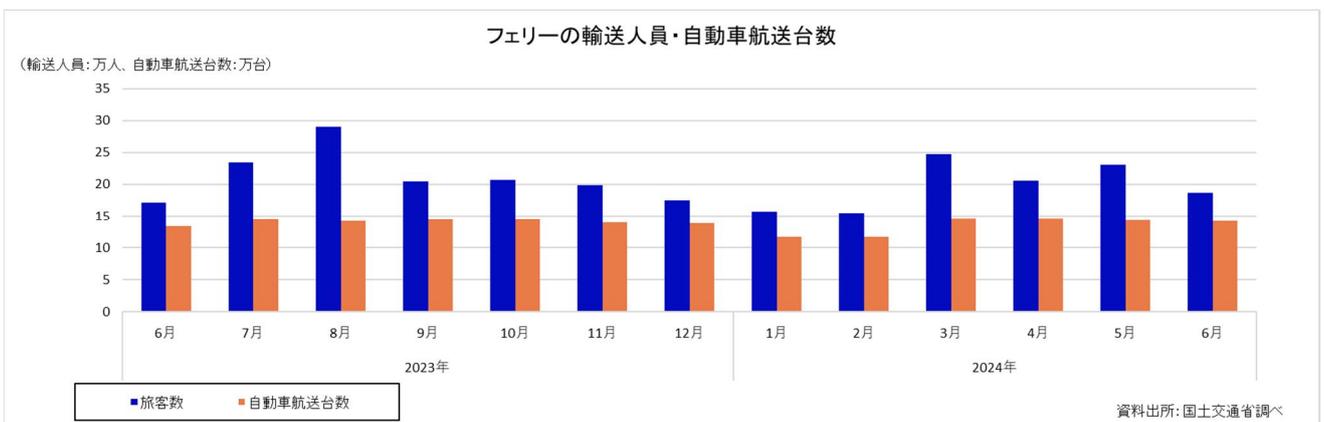
2024年4月のJRの輸送人員は、7億1,447万人（前年同月比4.4%増）となった。そのうち、定期は4億699万人（前年同月比2.7%増）、定期外は3億748万人（前年同月比6.8%増）であった。

2024年4月の民鉄の輸送人員は12億3,886万人（前年同月比5.2%増）となった。そのうち、定期は6億5,809万人（前年同月比3.3%増）、定期外は5億8,077万人（前年同月比7.3%増）であった。



(3) フェリー

2024年6月の長距離フェリーの輸送人員は19万人（前年同月比9.1%増）、自動車航送台数は14万台（前年同月比6.0%増）となった。

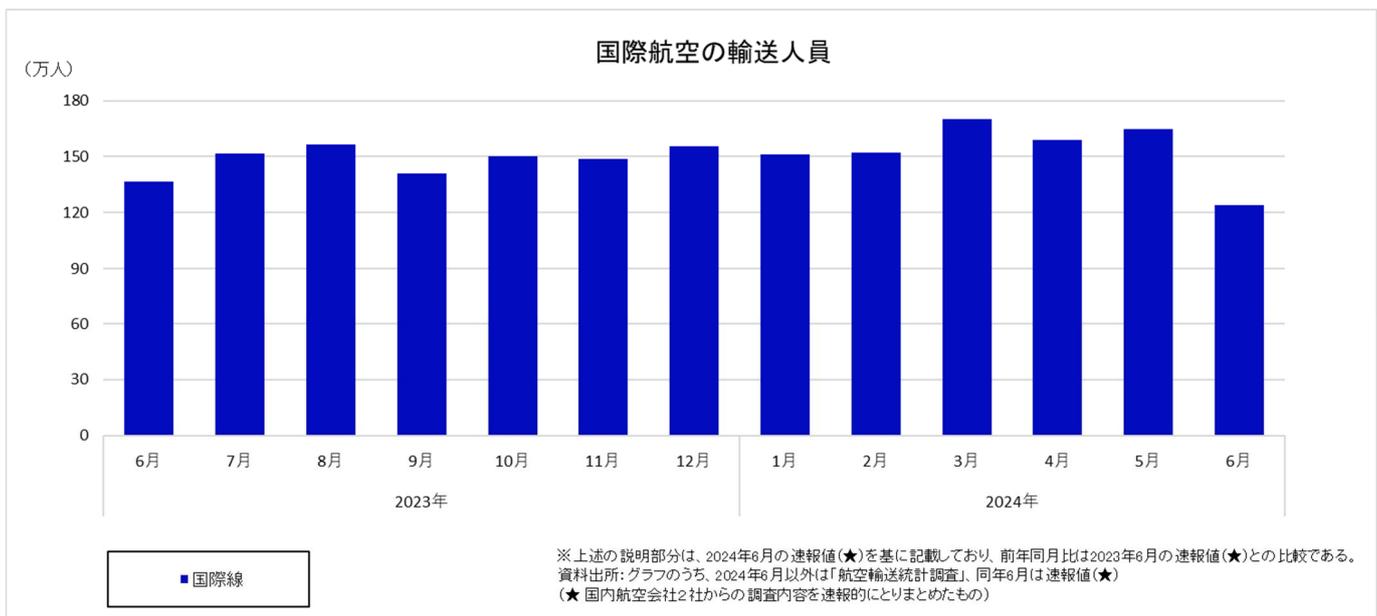
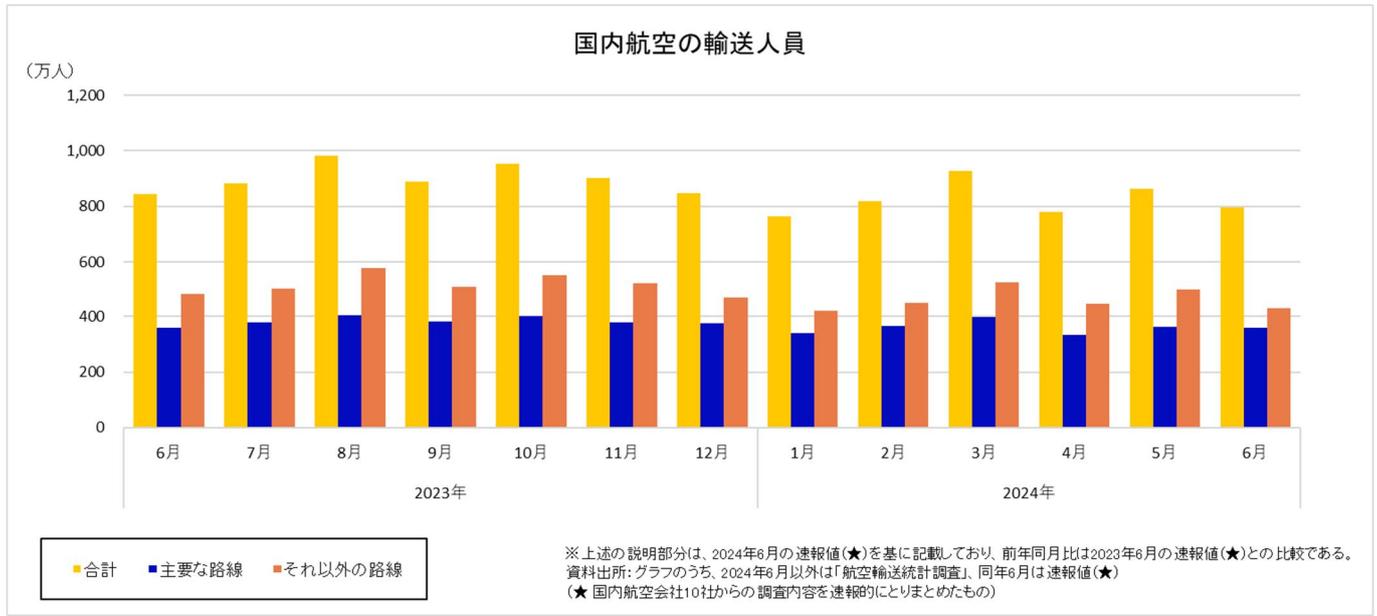


(4) 航空

2024年6月の国内線の輸送人員は、795万人（前年同月比1.6%減）となった。そのうち、主要な路線^(注5)における輸送人員は361万人（前年同月比0.5%増）、それ以外の路線における輸送人員は435万人（前年同月比3.3%減）であった。

2024年6月の国際線の輸送人員は、124万人（前年同月比12.5%増）となった。

(注5) 新千歳、東京（羽田）、東京（成田）、大阪（伊丹）、関西、福岡、沖縄（那覇）の7つの空港を相互に結ぶ路線である。



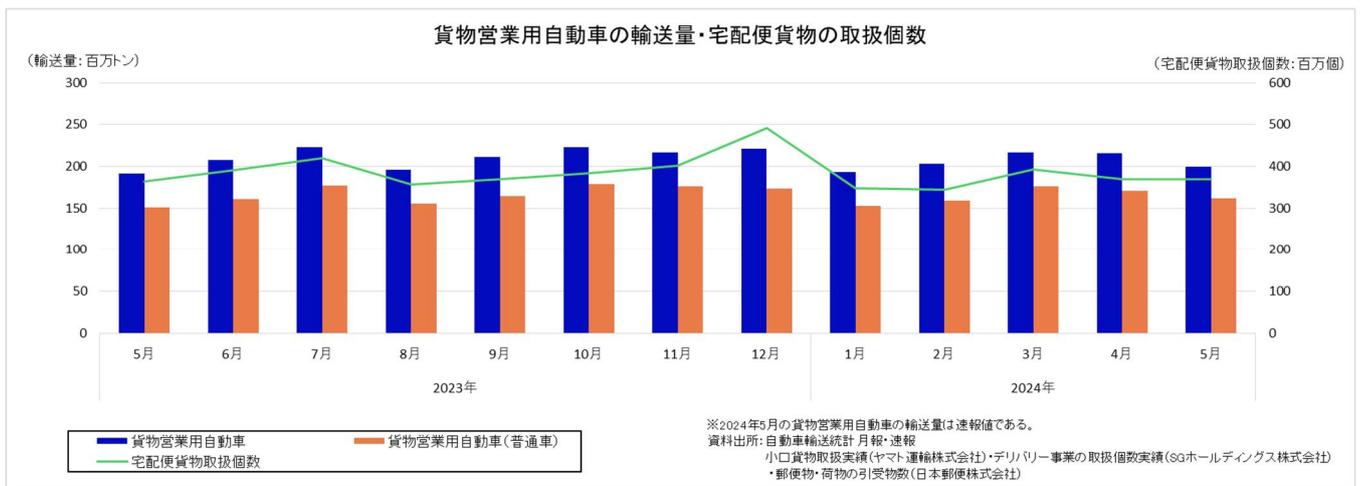
2. 貨物輸送

(1) 自動車

2024年5月の貨物営業用自動車の輸送量は、1億9,929万トン（前年同月比4.0%増）となった。そのうち、貨物営業用自動車（普通車）^(注6)は1億6,140万トン（前年同月比6.6%増）であった。

2024年5月の宅配便貨物の取扱事業者（大手3社）による宅配便貨物の取扱個数は、3億6,904万個（前年同月比1.4%増）となった。

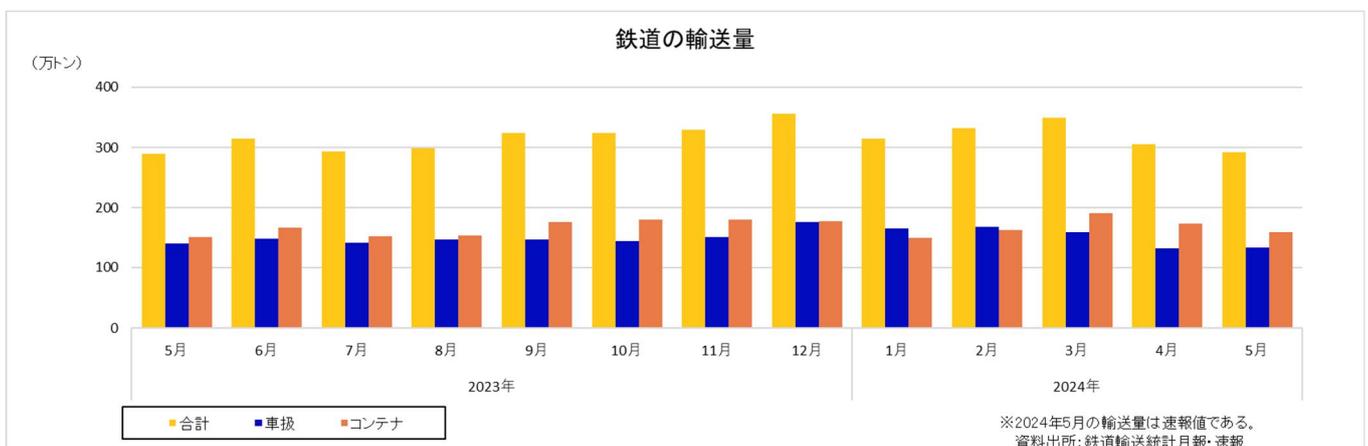
(注6) 普通自動車は、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車及び小型特殊自動車以外の自動車である（道路運送車両法施行規則別表第1）。5つの自動車の種別は、大きさ、構造、総排気量等の基準により分類され、総排気量の場合、小型自動車は660超2,000cc以下、軽自動車は660cc以下、普通自動車は2,000cc超の区分によっておおむね分類される。



(2) 鉄道

2024年5月の鉄道の輸送量は、292万トン（前年同月比0.7%増）となった。そのうち、車扱^(注7)は132万トン（前年同月比5.2%減）、コンテナは159万トン（前年同月比6.2%増）であった。

(注7) 車扱貨物（しゃあつかいかもつ）を略して記載しており、貨車を一両単位で借り切って輸送する貨物列車のことである。

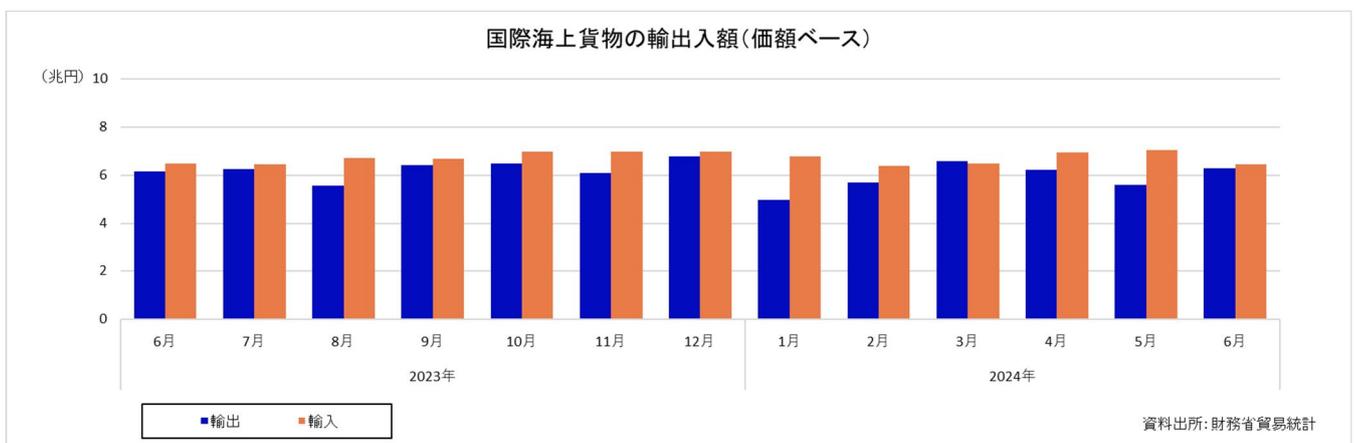
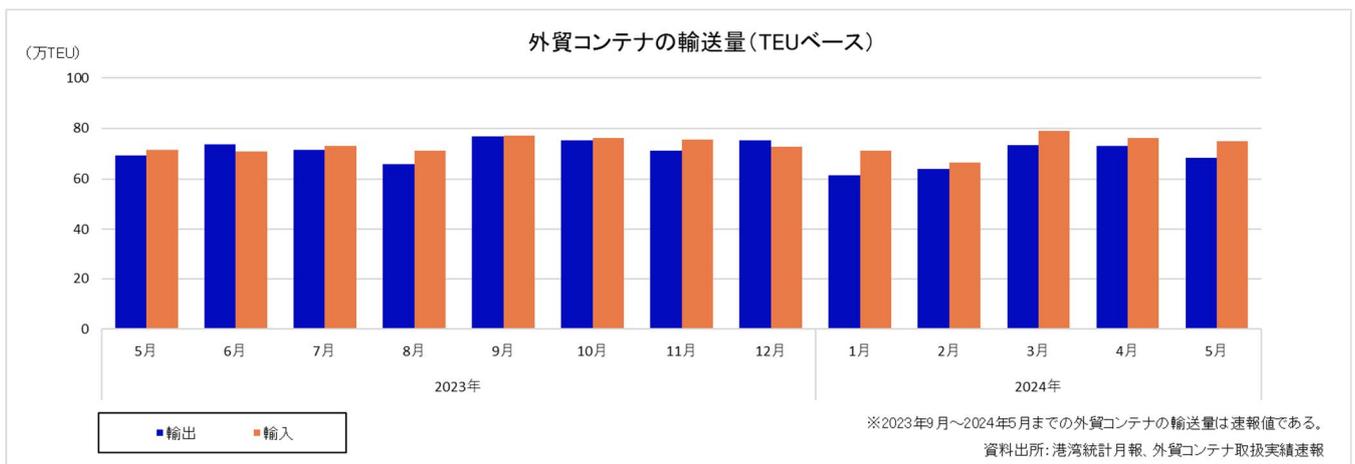
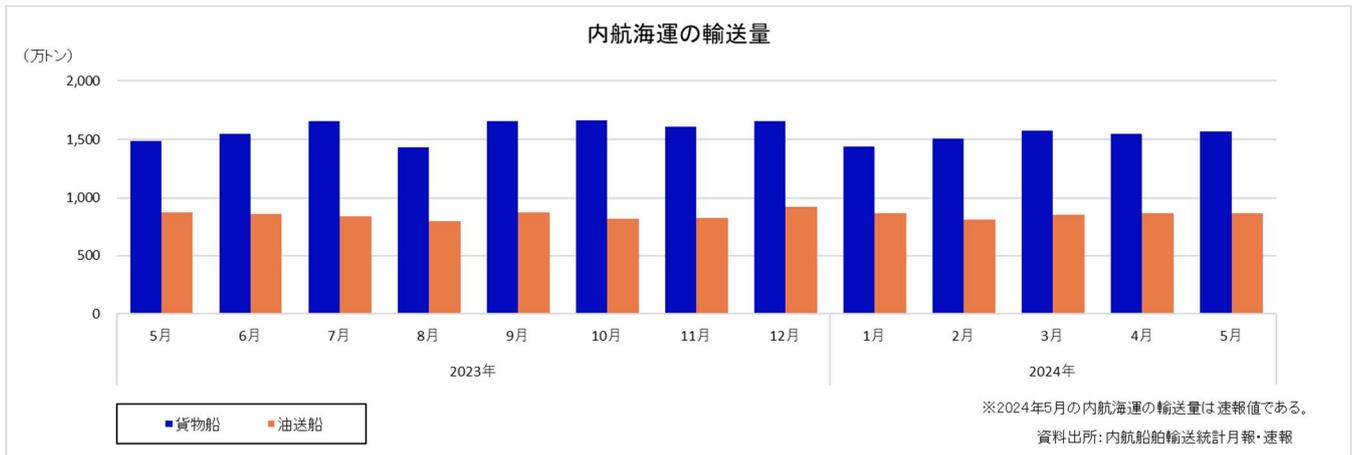


(3) 海運

2024年5月の内航海運の輸送量は、貨物船1,567万トン（前年同月比5.5%増）、油送船867万トン（前年同月比0.7%減）となった。

2024年5月の外航海運（外貿コンテナ）の輸送量は、輸出68万TEU（前年同月比2.7%増）、輸入75万TEU（前年同月比3.4%増）となった。

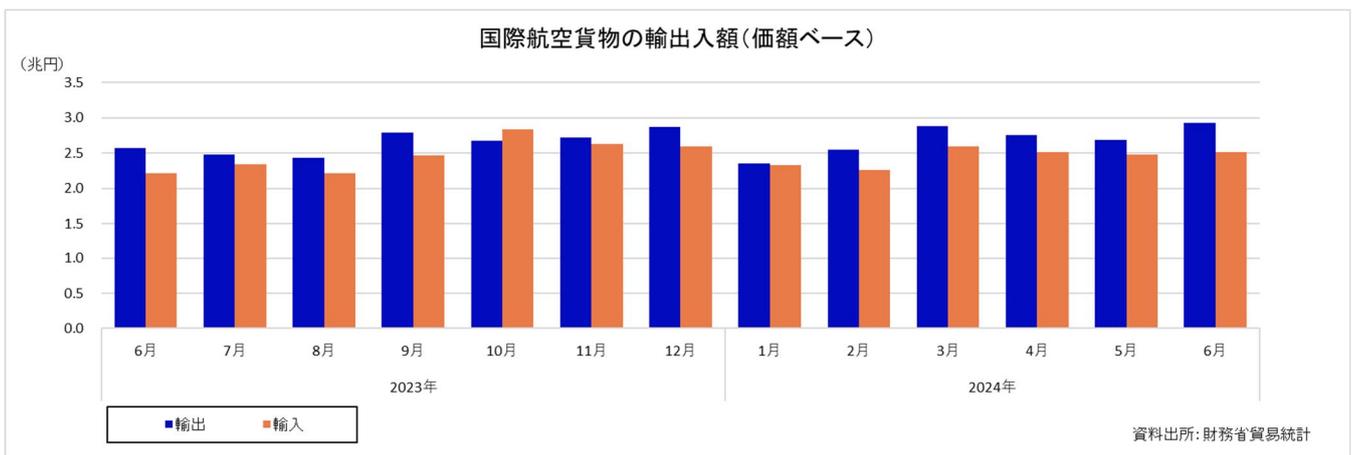
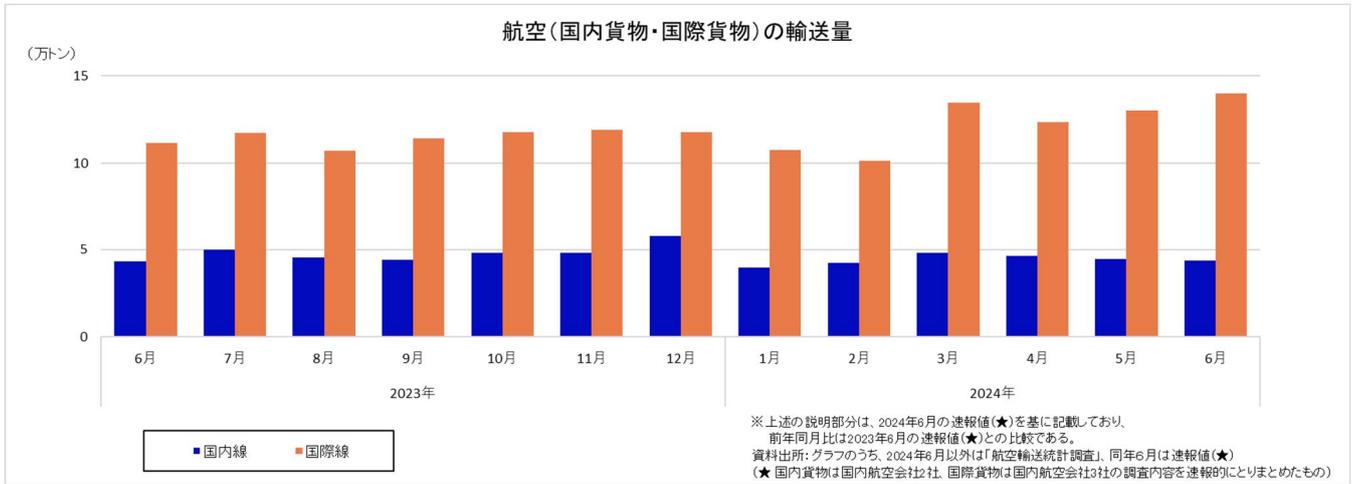
2024年6月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出6.3兆円（前年同月比1.8%増）、輸入6.5兆円（前年同月比0.4%減）となった。



(4) 航空

2024年6月の航空（国内貨物、国際貨物）の輸送量は、国内線4.4万トン（前年同月比7.3%増）、国際線14万トン（前年同月比14.4%増）となった。

2024年6月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出2.9兆円（前年同月比13.9%増）、輸入2.5兆円（前年同月比13.8%増）となった。

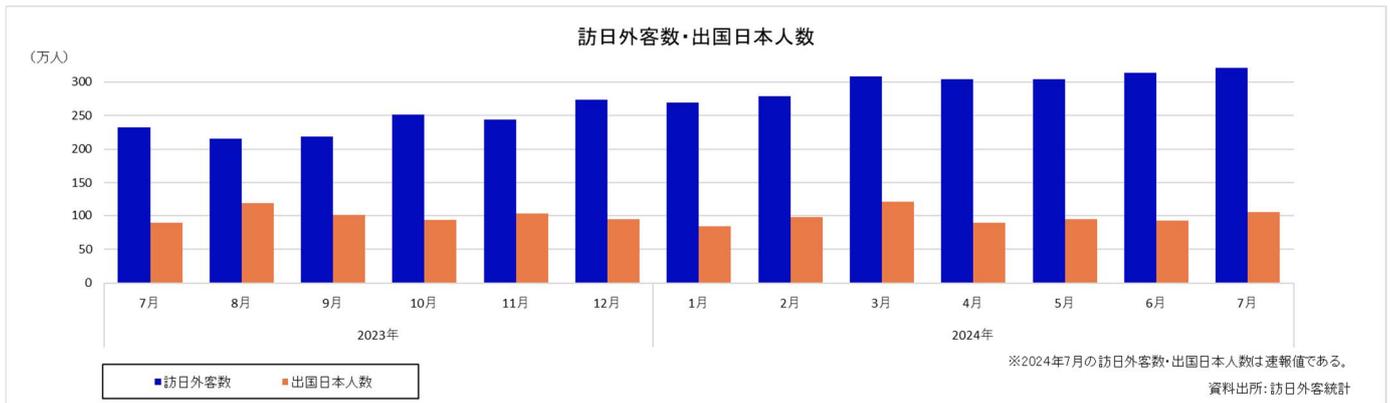


3. 観光分野

(1) 訪日外客数、出国日本人数

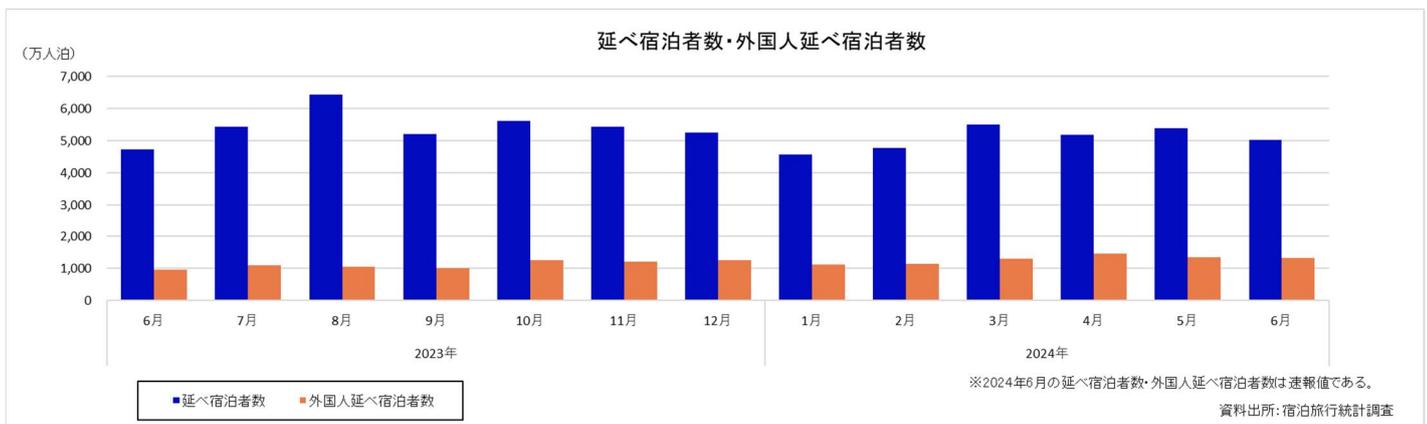
2024年7月の訪日外客数は、329万人（前年同月41.9%増）となった。そのうち、韓国は76万人（前年同月比20.9%増）、中国は78万人（前年同月比147.8%増）、台湾は57万人（前年同月比35.4%増）、香港は28万人（前年同月比29.0%増）であった。

また、2024年7月の出国日本人数は、105万人（前年同月比17.6%増）となった（ただし、2019年同月比は36.8%減）。



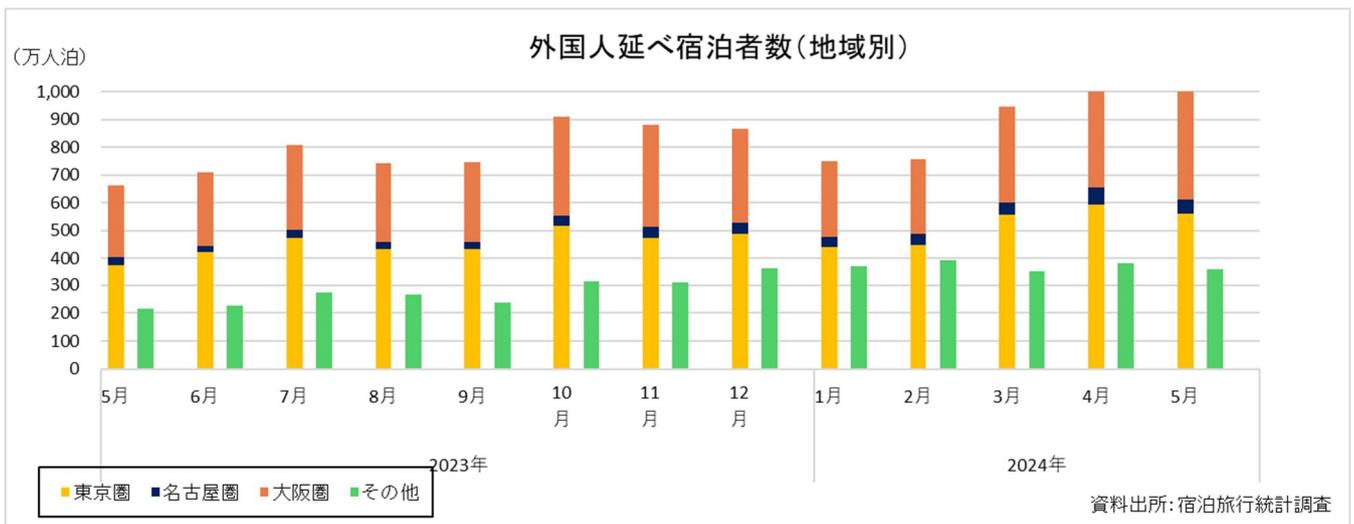
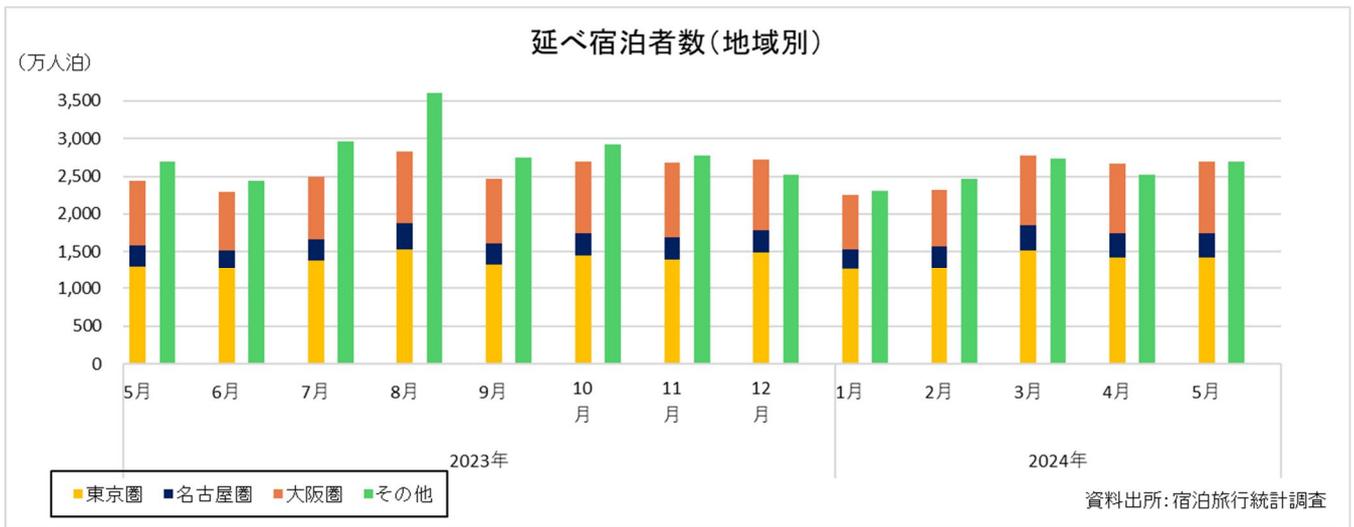
(2) 宿泊者数

2024年6月の延べ宿泊者数は、5,039万人泊（前年同月比6.3%増）となった。そのうち、外国人延べ宿泊者数は、1,319万人泊（前年同月比37.8%増）であり、その割合は26.2%であった。



2024年5月の延べ宿泊者数（5,390万人泊）のうち、東京圏は1,425万人泊（前年同月比9.4%増）、名古屋圏は319万人泊（前年同月比15.8%増）、大阪圏は947万人泊（前年同月比10.1%増）、その他は2,699万人泊（前年同月比0.1%増）であった。

2024年5月の外国人延べ宿泊者数（1,356万人泊）のうち、東京圏は560万人泊（前年同月比48.5%増）、名古屋圏は51万人泊（前年同月比91.4%増）、大阪圏は389万人泊（前年同月比50.7%増）、その他は356万人泊（前年同月比65.9%増）であった。



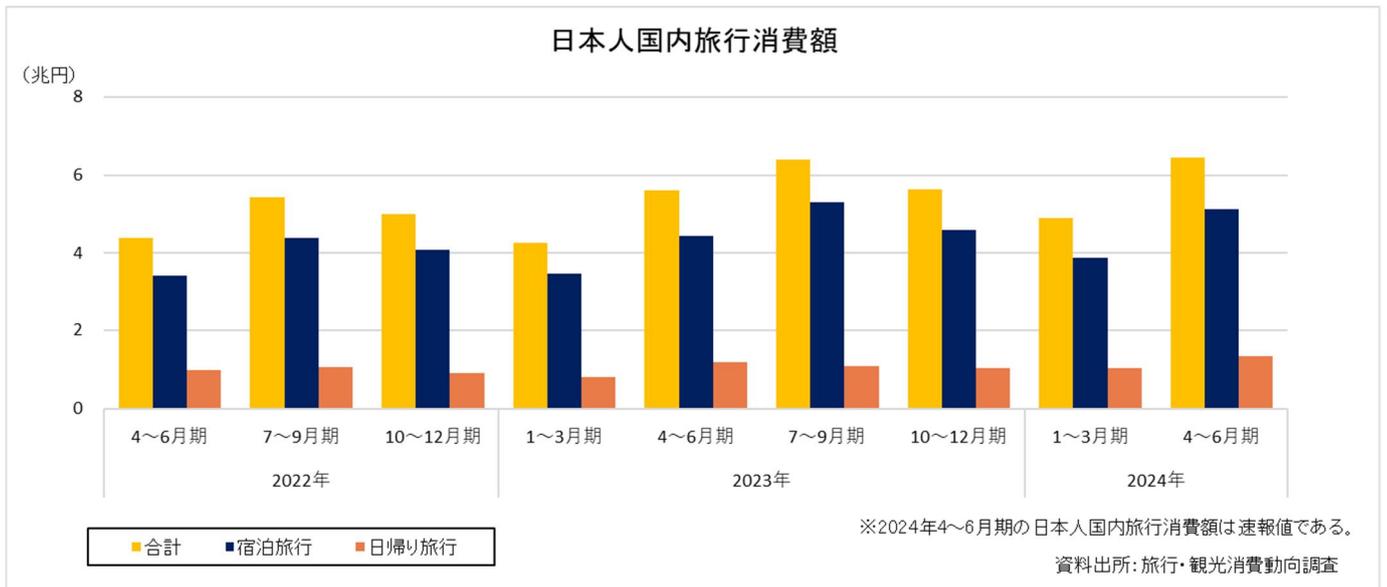
東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県

大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

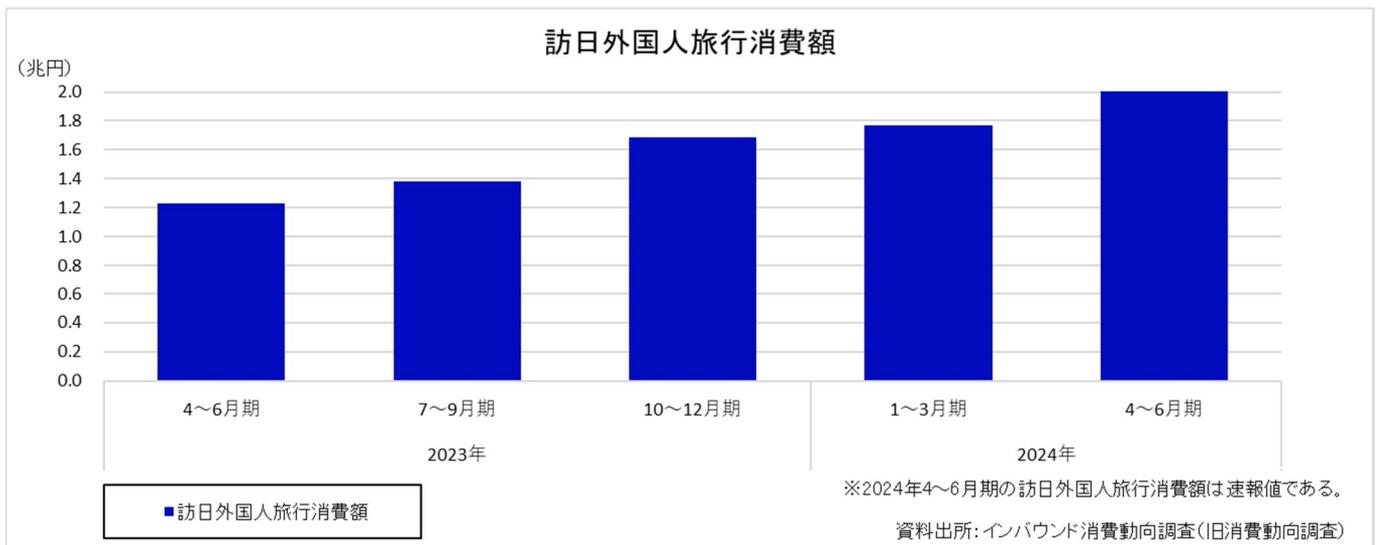
(3) 日本人国内旅行消費

2024年4月～6月期の日本人国内旅行消費額は、6兆4,518億円（前年同期比14.9%増）となった。そのうち、宿泊旅行は5兆1,137億円（前年同期比15.6%増）、日帰り旅行は1兆3,381億円（前年同期比12.6%増）であった。



(4) 訪日外国人旅行消費

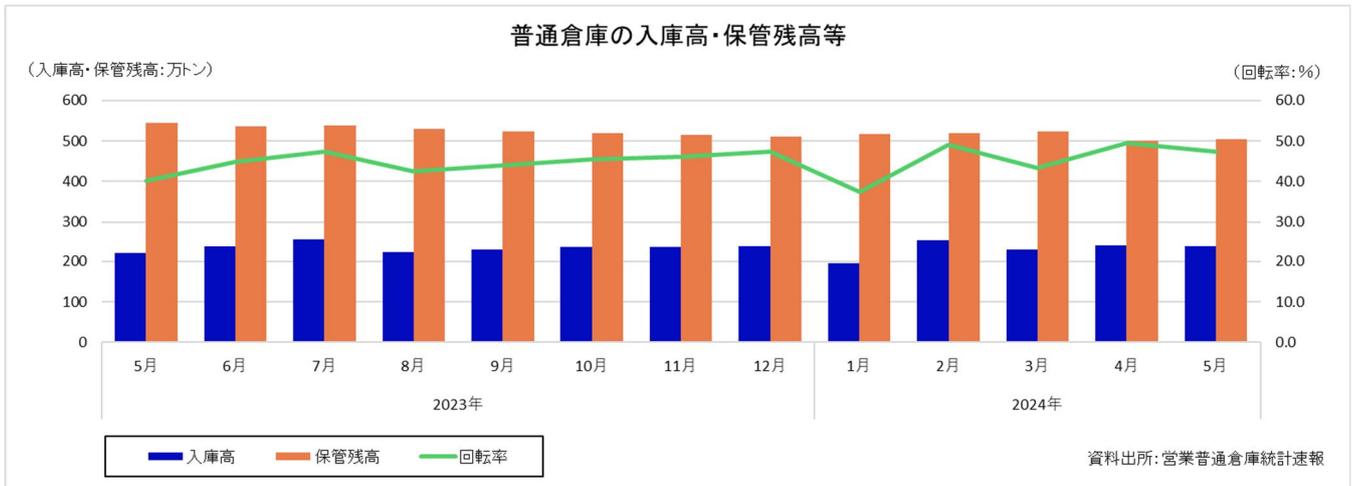
2024年4～6月期の訪日外国人旅行消費額は、2兆1,370億円（前年同期比73.5%増）となった。



4. その他

(1) 倉庫

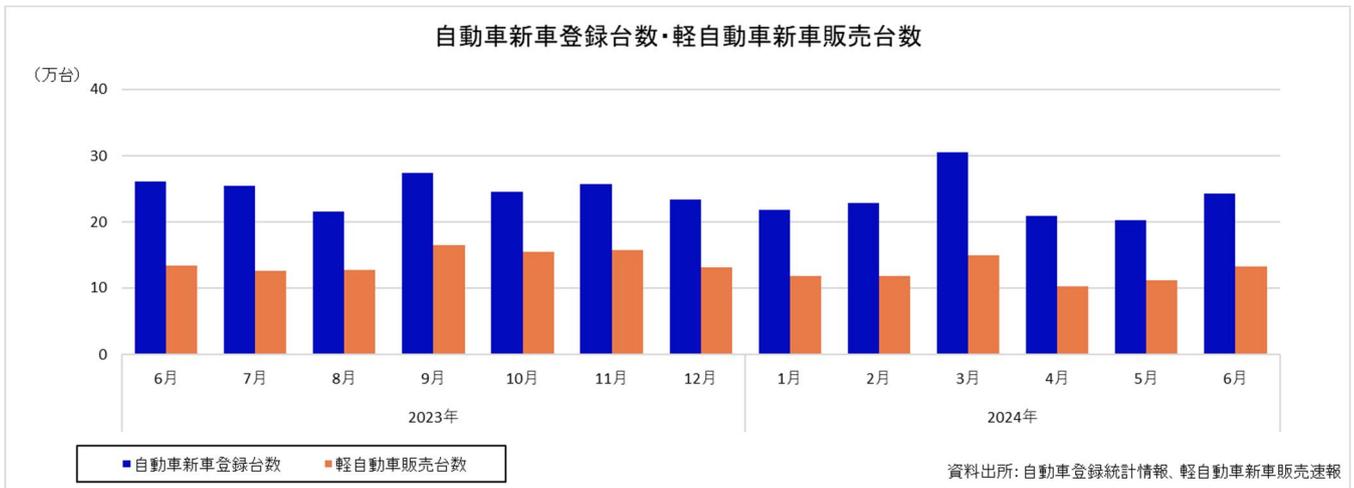
2024年5月の普通倉庫の入庫高は、239万トン（前年同月比8.8%増）、保管残高は504万トン（前年同月比7.4%減）、回転率47.3%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

2024年6月の自動車新車登録台数は、24万台（前年同月比7.0%減）となった。そのうち、旅客車登録台数は21万台（前年同月比6.8%減）、貨物車登録台数は3万台（前年同月比10.1%減）であった。

2024年6月の軽自動車販売台数は、13万台（前年同月比0.7%減）となった。

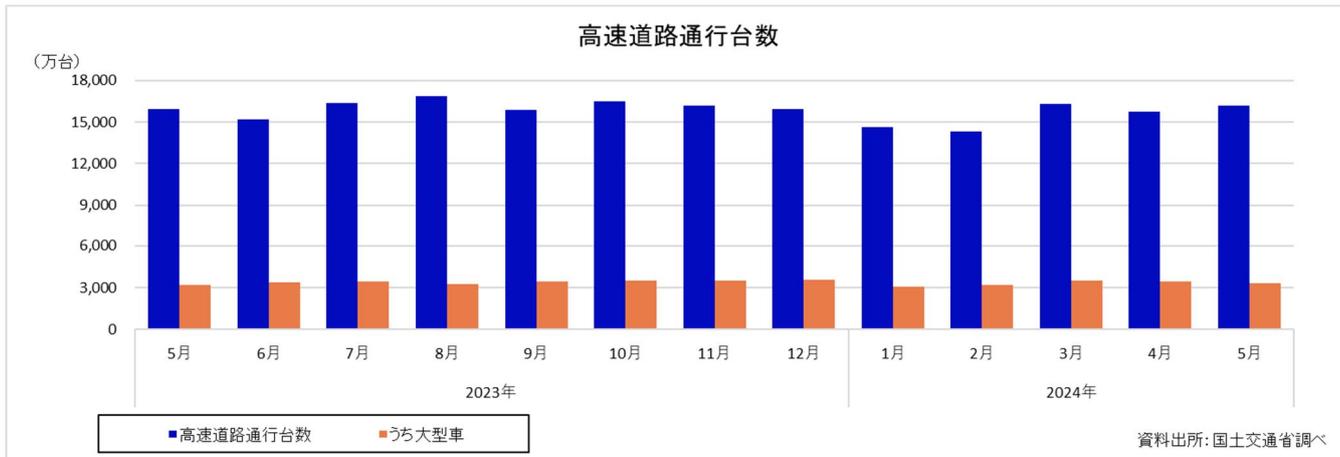


(3) 自動車保有車両数

2024年5月の自動車保有車両数は、8,270万台（前年同月比0.1%増）となった。

(4) 高速道路通行台数

2024年5月の高速道路通行台数は、16,165万台（前年同月比1,5%増）となった。そのうち、大型車通行台数は、3,336万台（前年同月比5,2%増）、東名高速道路通行台数は、1,307万台（前年同月比1,4%増）であった。



(5) 鉄道車両生産

2024年6月の鉄道車両（新造）の生産車両数及び生産金額は、それぞれ99両、130億円となった。



(6) 造船

2024年6月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は、それぞれ17隻、696,636G/T、1,094億円となった。

※G/T…Gross Tonnage（総トン数）の略

